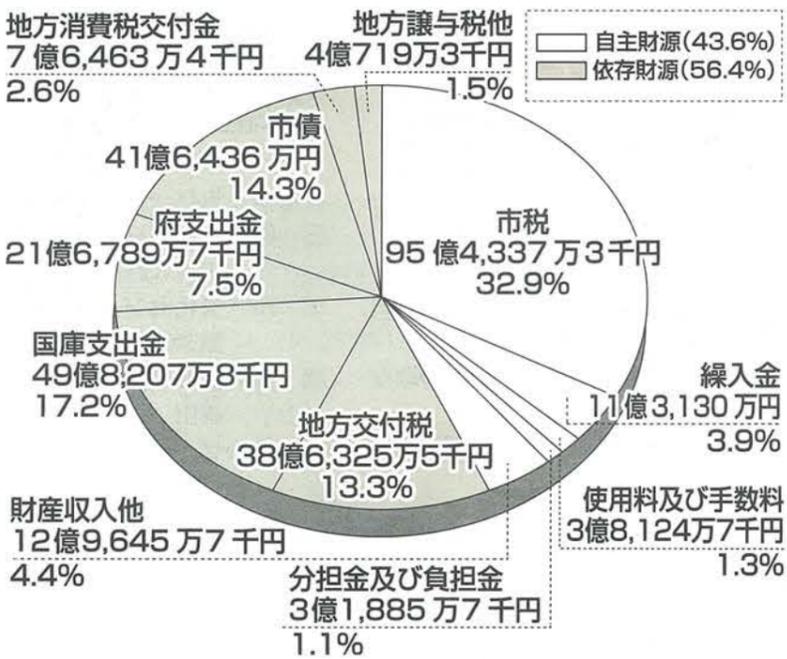
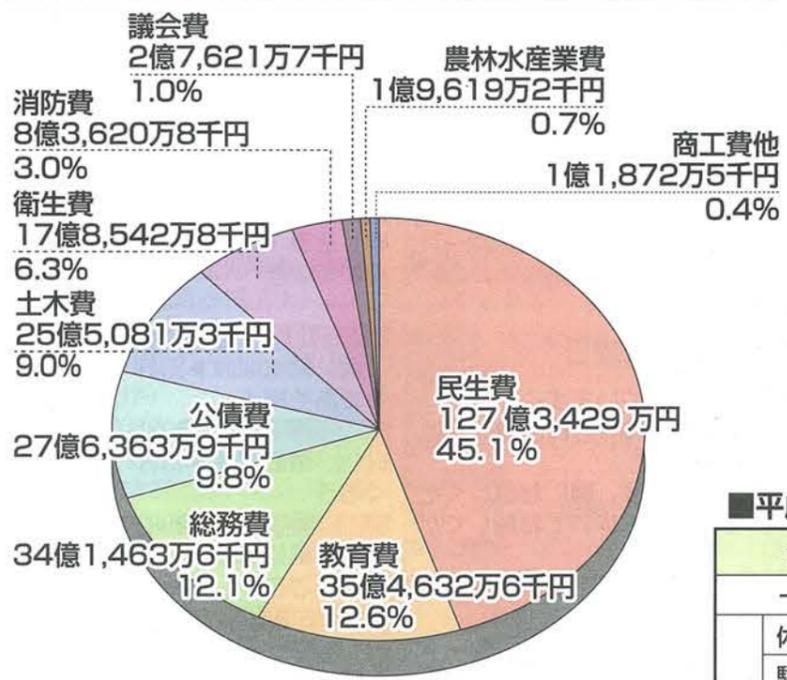


平成26年度 決算状況をお知らせします

一般会計歳入 290億2065万1千円



一般会計歳出 282億2,247万4千円



歳出決算額を人口一人当たりで見れば

人口72,992人(平成27年3月31日現在)

民生費 174,461円
高齢者・障がい者・児童の福祉などのために

教育費 48,585円
小・中学校の管理運営、生涯学習の充実のために

総務費 46,781円
市政運営のために

公債費 37,862円
市の借金の返済のために

土木費 34,946円
道路や公園の整備、管理などのために

衛生費 24,461円
市民の健康、ごみ処理のために

消防費 11,456円
救急、防災のために

議会費 3,784円
市議会運営のために

農林水産業費 2,688円
農林業の振興と育成のために

その他(商工費等) 1,627円

◆問い合わせ 財政課

平成26年度一般会計等の決算状況をお知らせします。決算は、市議会第3回定例会開会中に設置された決算特別委員会で審査され、10月14日に認定されました。

一般会計

平成26年度の一般会計決算額は、歳入290億2065万1千円、歳出282億2247万4千円です。歳入歳出の差し引き額は7億9817万7千円です。翌年度に繰越すべき財源2億171万円を差し引いた実質収支は、5億9964万7千円となりました。

決算の概要

平成26年度は、消費税率引き上げに伴う、景気の下振れリスクへの対応や継続的な経済成長につなげるた

一方、地方交付税が27千円(22.2%)増加。また、地方消費税交付金が前年度より1億5千655万4千円(25.7%)増加しました。

市の貯金である一般財政調整基金の平成26年度末残高は、前年度より1億3千673万9千円減額の18億6千691万8千円、市の借金である市債の平成26年度末現在高は、前年度末より16億5千232万7千円

増額の256億4千459万7千円となっています。国民健康保険特別会計の歳入歳出での不足額は、翌年度繰上充用金により補てんしました。それ以外の特別会計の実質収支は、いずれも黒字で決算することが

特別会計

介護保険特別会計は、介護認定者数の増加等により保険給付費が前年度と比べ、2億9千833万8千円(7.2%)増額となりました。後期高齢者医療特別会計は、高齢者の医療給付費の増加等により後期高齢者医療広域連合納付金が前年度と比べ6千863万3千円(5.5%)増額となりました。

平成26年度特別会計別決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引
一般会計	290億2,065万1千円	282億2,247万4千円	7億9,817万7千円
特別会計			
休日応急診療所	4,138万9千円	4,129万8千円	9万1千円
駐車場	1,567万円	1,457万1千円	109万9千円
国民健康保険	87億4,999万7千円	89億8,053万5千円	△2億3,053万8千円
介護保険	45億4,466万2千円	44億9,085万5千円	5,380万7千円
後期高齢者医療	13億3,598万2千円	13億1,498万7千円	2,099万5千円
計	146億8,770万円	148億4,224万6千円	△1億5,454万6千円

※△はマイナスを表します

※水道事業会計・下水道事業会計

財政状況

市では、これまでの数次にわたる行財政改革の推進により、地方公共団体の財政状況は、安堵できる状況ではありませぬ。

業会計の決算状況の詳細は、上下水道広報紙「やわたの上下水道」(平成28年1月発行予定)でお知らせします。

政の健全化に関する法律に基づく健全化判断比率については健全性を示しているが、単年度の財政構造の弾力性を示す経常収支比率が95.7%と前年度より1.7ポイント上昇し、健全な財政運営を進めていくには、安堵できる状況ではありませぬ。